

さかいみなと漁港・市場活性化ビジョンの 進捗状況(前回 H30年8月以降)

《信頼される漁港・市場作り、衛生管理の強化》

- ・令和元年6月 1号上屋、陸送上屋供用開始
- ・令和元年9月 1号上屋、陸送上屋の供用に合わせ業務継続計画(BCP)改正
- ・令和2年10月 業務継続計画(BCP)訓練実施

《活力ある漁港市場づくり、水産物の販路拡大》

- ・令和元年6月 シンボルマーク完成

さかいみなと漁港・市場活性化協議会

平成23年12月発足（平成23年12月16日同協議会要綱施行）

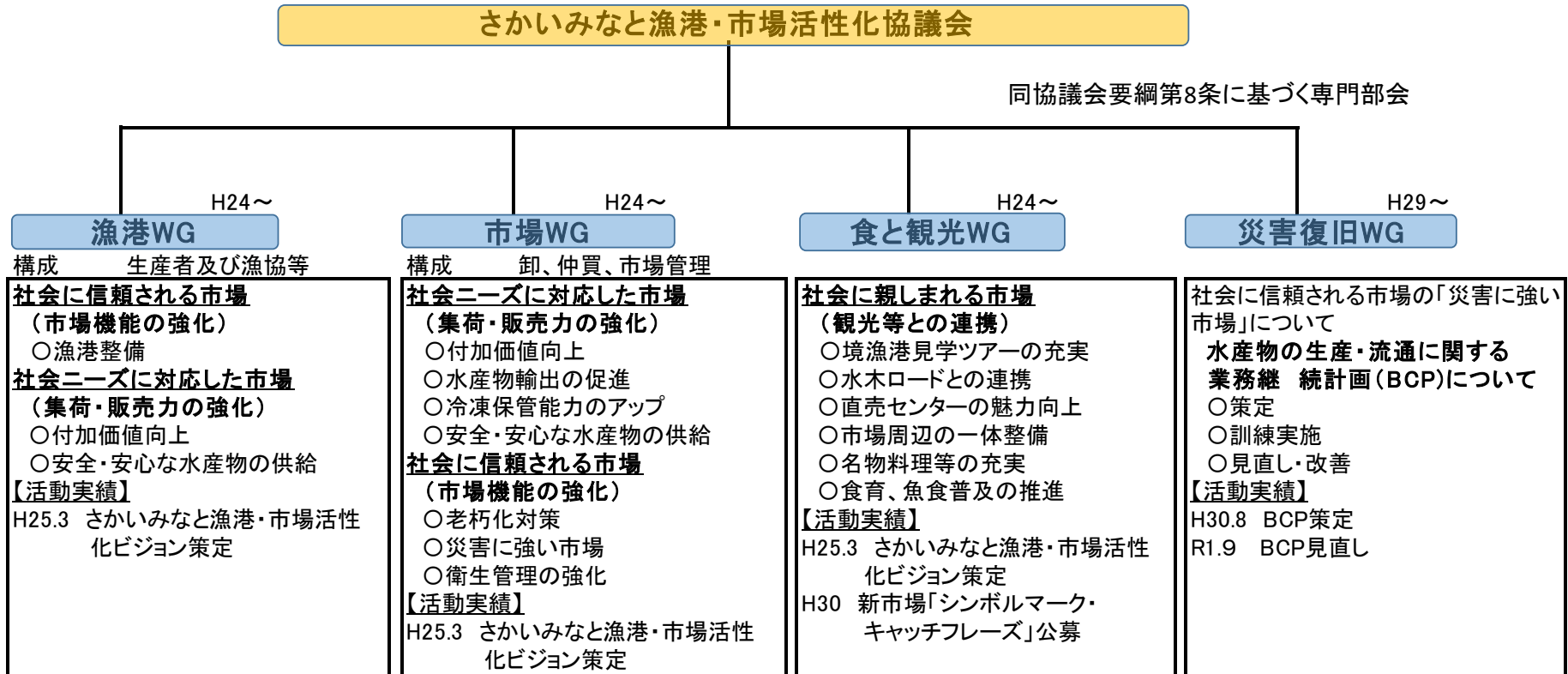
【目的】

境漁港の活性化のため、漁港等の整備や市場の機能強化について、幅広く地元や水産関係者等の意見を聴取することで、適正な整備や利用促進に資する。

平成25年3月

「さかいみなと漁港・市場活性化ビジョン」を策定

将来のあるべき姿：社会に信頼され、活力があり、親しまれる漁港・市場



さかいみなと漁港・市場活性化ビジョン（概要版）

背景

強み

- 境漁港は、西部日本海最大の漁港として、水産物取扱量は全国でも有数（H23年全国第3位）
- まき網漁業、べにずわいがに漁業、沖合底びき網漁業、いか釣り漁業、各種沿岸漁業により、四季折々の多種多様な水産物が水揚げされる
- 背後地に大規模加工団地、重要港湾を有するほか、資材、道路、労働力等が揃った港



課題

- 災害への対応（耐震基準未対応）、係留岸壁の充実、漁港利用者の利便性の向上
- 水産資源の減少（S61-H6：50万ト超→近年約10万ト）、魚種組成の変化、魚価安
- 手狭な上屋・荷揚げ岸壁、衛生管理対応の遅れ、市場施設の老朽化
- 魚離れ、消費地ニーズへの対応（食の安全・安心、手軽さ、産地一次加工）、海外消費量の増大
- 水産物直売センターの集客の長期減少傾向、観光分野との連携、食育・魚食普及活動の促進

将来のあるべき姿

社会に信頼され、活力があり、親しまれる漁港・市場

<基本目標>

- ◇災害に強く、消費者の「安心・安全」のニーズに対応した高度衛生管理型の漁港、市場
- ◇付加価値の向上を推進するとともに、大量水揚げ・迅速処理にも対応できる漁港、市場
- ◇新鮮で豊富な水産物を提供し、地域の観光資源となるとともに、地元で愛される漁港、市場

<取組方針と具体的な施策>

信頼される漁港・市場づくり (漁港・市場機能の強化)

- 災害に強い漁港、市場
 - ・地震、津波対策
 - ・避難場所の確保
- 衛生管理の強化
 - ・高度衛生管理型市場の整備
 - ・高度衛生管理体制の構築
 - ・汚水処理施設の改修
- 周辺環境の整備
 - ・係留岸壁の充実
 - ・利用者のための施設整備
 - ・臨港道路の高潮・振動対策

活力がある漁港・市場づくり (集荷・販売力の強化)

- 水揚げ物の付加価値向上
 - ・まき網物の小ロット販売による単価アップ
 - ・産地一次加工の検討
 - ・境港ブランドの創出
 - ・6次産業化の推進
 - ・管理記録の保持・情報提供
- 水産物の販路拡大
 - ・活魚出荷の推進
 - ・関西でのマーケティング
 - ・海外市場の開拓
- 陸上処理能力のアップ
 - ・まき網三者による需給調整
 - ・効率的な水揚げができる漁港・市場への再構築

親しまれる漁港・市場づくり (観光連携及び地域活性化の推進)

- 観光分野との連携
 - ・魅力ある水産物直売センターの創出
- 漁港見学ツアーの充実
 - ・早朝セリ見学の実施
 - ・見学通路の整備
- 食育・魚食普及活動の推進
 - ・学校給食等での地元水産物活用による食育の推進
 - ・継続的な水産イベント等による魚食普及活動

<ビジョンの位置づけ>

このビジョンは、境港を取り巻く現状とその課題を関係者で共有し、今後の境港の「あるべき姿」について意見集約を行ったものである。

具体的な施策については、できるものは速やかに取り組み、中長期的な課題は、国の高度衛生管理基本計画を念頭に、今後、具体化に向けた検討を進めていく。

さかいみなと漁港・市場活性化ビジョン将来構想の進捗状況について

信頼される漁港・市場づくり		
	災害に強い漁港・市場整備	
	地震・津波対策	<市場整備に併せて>
	避難場所の確保	<市場整備に併せて>
衛生管理の強化		
	高度衛生管理型市場の整備	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度 高度衛生管理型漁港・市場整備について、国直轄調査を実施 平成25年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施（宿毛、八幡浜） 平成26年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施（焼津） 平成27年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施（魚津） 平成28年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施（銚子） 平成29年10月 活性化協議会において、先進地視察を実施（石巻、塩竈） 平成30年11月 活性化協議会において、先進地視察を実施（輪島） 令和元年11月 活性化協議会において、先進地視察を実施（下関） 令和元年6月 1号上屋、陸送上屋供用開始
	高度衛生管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年2月12日 水産物産地 品質・衛生管理講習会実施 平成27年2月17日 産地市場の品質衛生管理講習会実施 平成27年6月23日 品質・衛生管理講習会（水産加工業者向け）実施 平成27年9月14日 「境港水産物市場利用協議会」発足 平成28年1月26日 品質・衛生管理講習会（市場関係者向け）実施 平成29年1月24日 品質・衛生管理講習会（市場関係者向け）実施 平成29年9月14日 品質・衛生管理講習会（市場関係者向け）実施 平成30年3月 衛生管理情報発信掲示板設置（2号上屋内5カ所） 平成30年5月 境港水産物市場利用協議会分科会の設置、衛生管理マニュアル策定着手 令和元年8月27日 品質・衛生管理講習会（市場関係者向け）実施 令和元年9月 1号上屋、陸送上屋の供用に合わせ業務継続計画（BCP）改正 令和2年10月 業務継続計画（BCP）訓練実施 令和3年3月24日 品質・衛生管理講習会（市場関係者向け）実施
	汚水処理施設及び管渠の改修	平成26年度より順次着手。平成27年度完了
周辺環境の整備		
	係留岸壁の充実	係留システム等による係船調整の手法を検討中
	漁港利用者のための施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年7月 休けい岸壁の多目的トイレをウォシュレット付に改良、東側陸電設備に30Aコンセントを設置 平成26年4月～ 陸電の利用時間について申告制に移行
	臨港道路の高潮・振動対策	平成26年1月 応急処置として、舗装補修工事を実施。26年度～27年度で改良工事を実施

活力ある漁港市場づくり		
水産物の付加価値向上		
	産地一次加工の検討	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年8月 船上での一次加工技術開発に向け、試験船第一鳥取丸に紫外線殺菌装置やフリーザーを設置。ハタハタ、マダラの2魚種で冷凍・試食の評価を実施
		<ul style="list-style-type: none"> 平成25年11月～3月 産地一次加工品の評価を検証するため、実証試験を実施
	境港ブランドの創出	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年2月 境港市場整備パンフレット作成 平成27年3月 「水産王国境港 四季のさかな」パンフレット作成
		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年12月 ベニズワイガニのブランド化を含めた「境港地域プロジェクト改革計画」が承認された
		<ul style="list-style-type: none"> 平成27年12月 境港水産加工ハンドブック作成 平成28年8月 「水産王国境港 四季のさかな」パンフレット 英語版作成 平成29年3月 「水産王国境港 四季のさかな」パンフレット 中国語版作成 平成29年11月 「水産王国境港 四季のさかな」パンフレット 香港語版作成 平成29年12月 ベニズワイガニのレシピ本作成 平成31年3月 シンボルマーク決定（公募） ⇒令和2年6月商標登録 令和元年6月 シンボルマークシール利用開始
	6次産業化の推進	
	情報収集・水揚物管理記録の保持・情報提供	<市場整備に併せて>
水産物の販路拡大		
	活魚出荷の推進	<市場整備に併せて>
	関西でのマーケティング	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年4月26～28日 食博覧会大阪に出展 平成25年6月29～30日 イオン茨木店での鳥取県フェアに参加 平成26年7月5～6日、平成27年7月4日～5日、平成28年7月3日 イオン伊丹昆陽店での鳥取県フェアに参加 その他、個別企業でも関西で鳥取県フェアを実施 平成27年5月、28年5月 関西の百貨店でマグロ初水揚げ同日販売を実施。 平成28年1月 関西での中野港漁村市の開催を百貨店と協議。漁業者による売り場視察を実施。 平成29年10月 阪神梅田本店において『中野港漁村市in大阪』を開催
	海外市場の開拓	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年10月4～8日 鳥取県水産物輸出入促進協議会及び境港水産振興協会が韓国市場調査を実施 平成26年9月5～14日 同協議会が、「鳥取県観光物産展inクアラルンプール」に出店 平成27年1月18～22日 同協議会が、タイ(バンコク)・中国(マカオ)市場調査を実施 平成27年1月～3月 「漁港・市場を核とした輸出促進対策ガイドライン」作成に向けた調査・検討会実施(国主体) 平成27年8月～ EU輸出に係る産地市場の登録のための実務マニュアル策定検討会実施(国主体) 平成28年3月、8月「鳥取県食材レストランフェアinウラジオストク」にブリを輸出 平成28年7月「イオン香港コーンヒル店鳥取岡山観光物産展」でベニズワイガニ、クロマグロをPR販売 平成30年4月、6月 クルーズ客船へ境港サーモン、マグロの納品 水産物輸出のための漁獲証明書 発行体制の確立
	効率的な水揚げができる漁港・市場への再構築	<市場整備に併せて>

親しまれる漁港市場づくり		
観光分野との連携		
	魅力ある水産物直売センターの創出	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年1月 山陰旋網漁業協同組合に売却 ・平成27年1月 水産物情報発信施設を開設
漁港見学ツアーの充実		
	早朝セリ見学の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・境港水産物市場管理(株)において、早朝市場見学希望者への対応を開始 ・境港水産振興協会において、土曜日午前7時からの早朝市場見学ツアーを開始
	見学通路の整備	<市場整備に併せて>
食育・魚食普及活動の推進		
	学校給食等での地元水産物の活用による食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・境港市内保育所、幼稚園でギンザケ集会（5月）、マグロ集会（6月）、カニ集会（9月）を実施 ・境港産ハタハタ、アジ、イワシ等を小学校給食で使用し、児童に概要を説明
	継続的な水産イベント等による魚食普及活動	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年5月～ 中野港において「さかいみなと中野港漁村市」を開催。 ・カニ感謝祭（1月）、境港まぐろ感謝祭（7月）、境港水産まつり（10月）を継続開催